

歯科衛生士のためのミラーテクニック

Mirror Technique for Dental Hygienists



増田 佳子

Keiko Masuda

医) 顕歯会 デンタル みつはし

マイクロスコープ下での処置において、ミラーテクニックは視野をつくるうえで欠かせない技術です。しかし、「難しそう」「思うように見えない」と感じたご経験をお持ちの歯科衛生士の方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

特にワンオペで患者さんを担当する歯科衛生士は、観察と施術を同時に行いながら、安定した視野を保つことを両手だけで行う必要があります。

ミラーを活用することで、マイクロスコープ本体を大きく動かすことなく、処置を続けながら自然に視野を移すことができます。

処置を止めずに視点を変えられることは、日常臨床において大きな助けとなります。

また、ミラーテクニックによって立体的な情報をより多く得られる点は、歯科医療ならではの魅力でもあります。

一方で、視野が安定しない場面に戸惑うこともあるかもしれません。

だからこそ、ミラーテクニックの基本をあらためて整理し、「なぜ見えるのか、どうしたら見続けられるのか」を理解することが、安心につながると考えています。

本セミナーでは、“歯科衛生士のためのミラーテクニック”をテーマに、拡大視野をより自然に扱うための基本を、実習を通して丁寧に共有いたします。

10名限定の少人数制。

実際に手を動かしながら理解を深めていただきます。

ミラーを単なる観察器具ではなく、施術を支える大切なツールとして捉え直す時間。

明日からの臨床に、安心して取り入れていただくきっかけとなれば幸いです。

【略歴】

1982年 栃木県立衛生福祉大学卒業

1982年 歯科医院勤務

1982年 結婚退職

1997年 都内歯科医院勤務

2002年 デンタルみつはし勤務

2013年 日本顕微鏡歯科学会認定歯科衛生士取得

2024年 日本顕微鏡歯科学会認定指導歯科衛生士取得

The mirror technique is essential for establishing a stable and effective field of view under the dental operating microscope. However, maintaining consistent visualization while simultaneously performing procedures-especially when dental hygienists are required to work independently - can be challenging for dental hygienists.

Proper mirror use enables clinicians to shift the visual field without interrupting treatment or repositioning the microscope, allowing continuous and efficient clinical procedures. It also enhances three-dimensional perception, highlighting a unique strength of microscopic dentistry.

This hands-on seminar, limited to 10 participants, focuses on the essential principles of mirror technique and provides practical training to help dental hygienists manage magnified vision more effectively and confidently.